

# 萌黄通信

(もえぎ)

「石材再生友の会」会報誌(ケイ・アンド・エス)

2005年7月号 NO.26

<http://www.e-kands.jp>

## 萌黄通信は写真入になります

ケイ・アンド・エスのHPの日記帳では写真付で記載して行きます。また、その他の記事も出来るだけ写真を取り入れていきます。よって、今まで、ファックスでお送りしている方の中で、メールアドレスをお持ちの方はお知らせください。

また、現在HPのリニューアル中ですから、お楽しみに！更新事項がより多くなります。

## 萌黄通信

発行元有限会社ケイ・アンド・エス

本社 電話 0556-22-3237

山梨 Fax 0556-22-3236

東京(営) 電話 03-3431-0387

皆さんお元気ですか？  
 山梨は、もう本格的な夏ですね。  
 梅雨はどこに行ってしまったのだ  
 ろうといった感じですよ。外仕事の方  
 は、必ず水分補給を忘れずに。山梨は  
 今年も最高気温を更新しそうな気配  
 です。頑張って乗り切りましょう。

## 「イタリア紀行」

イタリアからの楽しい写真が手に入りましたので、皆さんにお見せしたいとおもいます。

今回は、ピサの斜塔です。世界遺産にも登録されているあの有名なピサです。最近は人数制限で中に入れるようで、右は、階段内部の写真です。ご覧のように、階段の踏面が一ヶ所に集中されるためか、変なすり減り方をしています。やはり、傾いているために、自然に出来た導線のようなのです。

この斜塔は、鐘楼のため、内部は、階段室が中心になっているので、この踏み跡の形には歴史を感じます。

(次回はカラーラの山の景色です。)



## 楽天ブログ「石材メンテナンス屋の日々感じる事」から

最近多い問い合わせに、以下のような、いたずらかきの除去が多いです。石の場合は、吸収性があるので、表面上の塗装は除去できるのですが、石の目の深くに入った顔料、染料はなかなか抜けません。大抵のお客さんは、写真の感じで、表面の部分が取れてしまうと、あきらめてしまって、放置してしまうのが普通ですが、今回、訪問したところは、表参道で、閑静なマンションで、住人のほとんどが外人さんときているので、この状態では、許されないとのこと。最初は、専属の日常清掃業者に、頼んだようで、いたずら書き消しスプレーで取っただけで、表面上だけは取れた状態です。今回の場合、この程度で止めにしていたので、良かったのですが、業者によっては散々、いろいろやっけてしまっていて、どうしようもなく貼り変えることになってしまうこともあるので、今回は、たすかりました。除去施工は、シンナーを使って、石の目の中の塗装成分を出来るだけ柔らかくしてあげて、溶かしていく事が大事な仕事になります。こんな作業を一時間くらい繰り返した後に、今度は色素を抜く湿布が必要になります。この石一枚分のいたずら書きをけすのに、半日くらいの根気が必要です。



## 「よくある質問コーナー」

(Q) 玄関ポーチ(外部)に施工したテラコッタの白華に困っています。施工後に大量発生した後は、ほとんど出ていないのですが、その時の白華がシミのようになってこびりついていきます。液体の洗浄剤で除去することができない場合は、サンドペーパーで削り取ることを考えています。

(N設計)

(A) ホームページからの質問事項です。

テラコッタは、とても吸収性の高いタイルですから、一度白華が、発生すると、なかなか止める事は難しいですが、内部の場合、質問のような、施工後に大量発生しただけならば、コート等で、止まる場合もあるので、浸透性のコート剤を塗布する事をお勧めします。

しかし、今回の場合、外部と聞いてますので、少し、条件が違ってくると思います。白華は水との関係で発生状況が違ってきますから、テスト施工が必要となります。

また、洗浄は、白華用の洗剤があるますので、それを使って洗浄します。白華の出る原因は、石の裏面から来ているので、いくらサンドペーパーで削っても白華は除去できません。

